

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、『あつぎこどもの森公園』において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である『あつぎこどもの森公園』の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻89号

写真 吉田文雄・長岡 恂・ナカノジュンゴ・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

冬芽とコケ

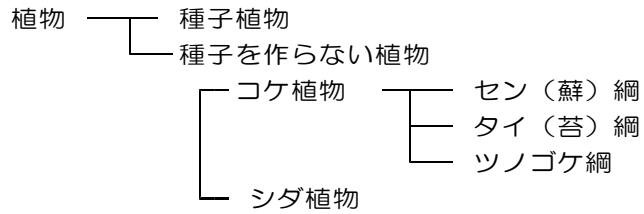


2024年2月24日(土)

主催 あつぎこどもの森クラブ

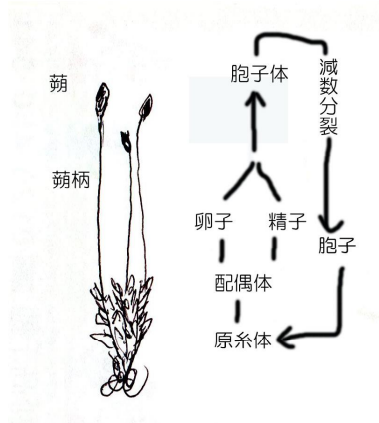
このパンフレットのバックナンバーは右QRコードからダウンロードできます
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>

コケのなかま



地衣類は菌類と藻類が共生して自立している

コケ植物の生活



有性生殖では、蒴（さく）から孢子（小さな球状の細胞）を飛散させて増えます。

孢子は生育に適した場所で水分を吸収して発芽します。

発芽した孢子は糸状の原系体となり蘚類では分枝して広がります。
苔類では原系体は分枝しないで盤状になることが多いです。

原系体の広がりの上に茎や葉ができ緑色のコケになります。

茎の上に造卵器、造精器でき、卵子と精子が作られます。この時期のコケ植物は配偶体と呼ばれます。

精子は2本の鞭毛を持ち雨の日など水中を泳いで卵子に達します。（このためには水が必要です）

。受精によって出来た接合子は分裂を繰り返して孢子体を作ります。

孢子体は若い頃は葉緑素を持っていますが配偶体の上で半寄生状態にあります。

孢子体の下部は蒴柄（さくへい）と呼ばれる柄になっていて頂端に蒴があります。蒴の中では減数分裂をして孢子が作られます。

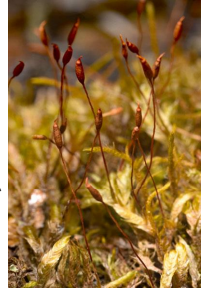
蘚類



ホソバオキナゴケ



ハミズゴケ



ヒロハツヤゴケ



ハチチレゴケ



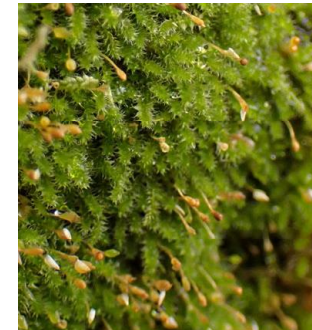
ハイゴケ



コツボゴケ 左♀右♂



タチヒダゴケ



コゴメゴケ



クチベニゴケ



コスギゴケ

苔類



フルノコゴケ



トサカゴケ

チャボホラゴケモドキ



チジミカヤゴケ



ゼニゴケ
無性芽



シヤゴケ



シンガサゴケ



カラヤステゴケ



イチヨウウキゴケ

地衣類

ヒメジョウゴゴケ



ムカデゴケ科



マツゲゴケ



ハクテンゴケ

レブラゴケ
不完全地衣

冬芽・葉痕



クサギの冬芽と葉痕



イヌザンショウ



森を作る 仲間を募集

コナラの丘にコナラの植樹をします。

協力して下さる方募集中

2024年2月24日(土) 13:00から

2月17日 ムササビの道脇にクヌギとコナラの苗を植えました。

24日は、コナラの丘の頂上にコナラを植えます。ここはコナラの丘という名の通りコナラがシンボルツリーとして立っていたのですが、ナラ枯れの被害を受けて伐採されてしまいました。

ですから、ここに再びコナラが茂ることを目指します。

またムササビの道脇はまだ植えるところが残っています。これからも皆さんに呼びかけて植樹地を増やしていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



植えたコナラの苗

昆虫マンション



こどもの森公園園内は、ナラ枯れなどで傷んだ木の除去作業が行われています。

そのため、林内には枯れ枝や朽ち木がたくさん見られます。

ここで1月14日、厚木市環境政策課が募集した親子で朽ち木の中の虫探しや、枯れ枝を集めて昆虫の冬越し場所＝昆虫マンション＝作りをしました。

クワガタやカミキリなどに

とって居心地のよい森になったでしょうか。

こどもの森ガイドウォーク(自然観察) 原則毎月第3土曜日

原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合 参加無料どなたでも参加できます。 開始時間要確認

4月15日	雑木林の春	11月18日	みのりの秋
5月20日	新緑の空中回廊を歩く	12月16日	生き物の冬越し
6月17日	木の実を見つけよう	2024年	
7月15日	木もれ日の公園を歩く	1月20日	冬の野鳥
8月19日	湿地の生き物を調べる	2月24日	冬芽とコケ ← 次回
9月16日	草原の虫たち	3月16日	春の兆し
10月21日	秋の花		

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。

毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。(入会はいつでも受付けています)

いきものガイド

すべり台下付近

東京農大学生による生き物調べお手伝い。生き物の展示もあります。

毎月 第1・第3日曜 10月～3月 13時 ～15時

4月～9月 14時 ～16時



芽吹き始めたコゴメヤナギ